

きたおおかわら
一般国道163号（北大河原バイパス）
そうらくぐんみなみやましろむらきたおおかわら
 （相楽郡南山城村北大河原）

一般国道163号は、関西圏と中部圏を結ぶ主要な幹線道路で、名神高速道路、国道1号、国道25号（名阪国道）等を補完する路線であり、第1次緊急輸送道路にも指定されるなど重要な路線です。しかしながら、本路線の相楽郡南山城村北大河原は、幅員狭小や線形不良区間が連続し、JR関西本線との鉄道交差部で桁下高制限（4.1m）があるなど、車両の円滑で安全な通行が困難な状況となっています。

このため本事業は、幅員狭小・線形不良・桁下高制限区間をバイパス道路により解消し、安全な生活環境と良好な走行環境の確保を図ろうとするものです。

平成18年度より新規着手し、用地補償、道路築造工及びトンネル本体工を実施してきました。

平成28年度は、引き続き道路築造工、トンネル設備工、舗装工を推進し、バイパスの供用開始を目指します。

◎事業概要

全体計画	H27までの実績	H28計画
事業期間：H18～H28 事業延長：3.2km 幅員：6.5(8.0)m 事業費：約80億円	事業概要：用地補償 道路築造工 橋りょう工 トンネル本体工 事業費：約77億円	事業概要：道路築造工 トンネル設備工 舗装工 事業費：3億円

◎事業効果

- バイパス整備により交通事故の低減を図り、第1次緊急輸送道路としての安全性・信頼性が向上します。
- 現道から通過交通を分離し、沿道環境の改善を図ります。
- 京都府相楽地域と三重県伊賀市を始めとする沿線市町村との交流・連携を促進します。

現道の状況



施工の状況



位置図

